

今年から、コロナ禍で無聊を託っている会員の暇つぶしに、会員からの情報発信コーナー『会員だより』が始まりました。

為になる話、そうでもない話、短くても長くても結構です。ぜひ気軽に投稿をして下さい。

第一弾はわたくし津田が担当し、その題名も『異論 桃太郎』です。

物語は皆様ご存じと考えるので、話に関連したサイドストーリーをお伝えしたいと思いますが、私の主観、思い込み、勘違いなどの基づいておりますので、他の方には決してお話にならないように、また反論・批判は受け付けませんのでご了解願います。

其の一、なぜ桃なのか？

日本の神話に海に浸した杖の水滴で日本の国土を作ったという逸話のある伊弉諾・伊邪那美の尊(イザナギ・イザナノミコ)の奥さんのイザナミノミコトが他界したときに悲しんだイザナギノミコトは黄泉の国を訪れ、変わり果てた妻の姿に驚きおのきその場を離れます。怒ったイザナギノミコトは鬼を追捕に向わせますがイザナギノミコトは桃の実を投げて鬼を追い払ったという逸話があります。桃は邪気を払うと言われていたのです。

其の二、鬼とは？

鬼は鬼門にいる邪悪で、姿は角にトラ柄のパンツです。鬼門の東北の方角は十二支で丑と寅の方角で、牛の角にトラ柄のパンツなのです。オニは隠(カ)からきたという説もあります。城下町を作る時には必ず丑寅の方角から邪気が押し寄せるのを防ぐために寺社仏閣を置きます。江戸の浅草寺、京都の比叡山、広島山根町あたりの寺社仏閣群がそれです。

其の三、桃太郎は？

江戸時代の中期までは、川から流れてきた桃を食べたお爺さんとお婆さんが若返って、盛り上がり桃太郎が生まれたというお話でした。江戸中期以降、歌舞伎になって子供に良くないということで現在の話になりました。金太郎にクマと相撲を取らせたのは近松門左衛門だと言われてます。

其の四、サル・トリ・イヌは？

部下とする者たちは鬼に対する訳なので、象徴的に丑寅と反対の方角の羊とサルが選ばれて然るべきですが、全く正対する逆鬼門は余り宜しくないとのことで、多少ずらしたサルとトリが選ばれました。そして地元の豪族で名門の犬養家を味方に付けたと言われます。

其の五、基となる話は？

大陸から渡ってきた渡来人が鉄を作る技術を基に勢力を伸ばし、それを大和朝廷が征伐した…というのが元筋だと思います。渡来人は山陰で取れる砂鉄をたたら製鉄で玉鋼を作る技術を持ち勢力を伸ばしていました。砂鉄を採取する姿は籠で泥鰯(土壌)を掬う民謡になっています。たら製鉄をする時に鞆(フイゴ)に空気を送り込む職人を番子と言ひ、昼夜交代で行うためかわりばんこと呼ばれました。

其の五、その後は？

最近、きび団子だけで命を懸ける戦いに駆り出したのはブラックではないか？何も悪いこ

とをしていない鬼を一方向的に攻めて滅ぼし、その財宝を持ち帰った桃太郎は果たして正義だったのかという疑問が SNS で提起されています。

異論桃太郎は如何でしたでしょうか？

記：津田 隆司

